

ユネスコ オロタ “国際言語年” オルシペ アン  
Yunesuko or ta “Kokusai-gengo-nen ” oruspe an  
ユネスコで「国際言語年」の話がありました

札幌市 横山 裕之

イランカラブテ！

irankarapte!

横山 セコロ クレヘ アン マ。

Yokoyama sekor ku=rehe an wa.

アイヌ語ペンクラブ オロ ウン ペ クネ ルウエ ネ。

Ainugo-penkurabu or un pe ku=ne ruwe ne.

アイヌイタク アエヤム クニ プ ネ クニ クラム。

aynuitak a=eyam kuni p ne kuni ku=ramu.

こんにちは

横山と申します。

アイヌ語ペンクラブのものです。

アイヌ語は、大切にされるべきものであると思っています。

2007 パ 5 チュプ 16 ト タ、国際連合第 61 回

2007 pa 5 cup 16 to ta, Kokusairengou dai61kai

総会 アン ルウエ ネ。

soukai an ruwe ne.

2007 年 5 月 16 日に、国際連合第 61 回

総会がありました。

モシリ エピッタ 言語 ヘネ 文化 ヘネ ウウエシン

mosir epitta gengo hene bunka hene uwesinnayno

ナイノ オカ コロカ、ウサ ウサ アウコエラマン ヤク

oka korka, usa usa a=ukoeraman yak

ピリカ、セコロ 国連総会 ヤイヌ コロ、2008 パ

pirka, sekor Kokuren-soukai yaynu kor, 2008 pa

“国際言語年” セコロ レコレ ルウエ ネ。

“Kokusai-gengo-nen” sekore rekore ruwe ne.

国中で言葉やら文化やらそれぞれ違って存在しますが、それぞれ(言葉や文化について)わかり合えるとよい、と国連総会は考えて、2008 年を「国際言語年」と名づけたのでした。

2007 パ 11 チュプ タ、ユネスコ事務局 ウン

2007 pa 11 cup ta, Yunesuko-zimukyoku un

サパネクル 松浦 晃一郎 ニシパ

sapanekur Matuura Kouitirou nispa

国際言語年 エク ヒ エヤイコブンテク コロ

Kokusai-gengo-nen ek hi eyaykopuntek kor

ピリカ オルシペ イエ ルウエ ネ。

pirka oruspe ye ruwe ne.

2007 年 11 月に、ユネスコ事務局長の松浦晃一郎氏は、国際言語年が来ることを喜びながら、よい話をしました。

ネ オルシペ マク アン ペ ネ ヤ ポンノ ポカ  
ne oruspe mak an pe ne ya ponno poka  
クエイソイタク クス ネ。  
ku=eisoitak kusu ne.

internet or ta ne nispa ene en=nukare  
インターネット オロ タ ネ ニシパ エネ エンヌカレ  
hi:  
ヒ:

“チュタリ ユネスコ (国際連合教育科学文化機関)  
”c=utari Yunesuko  
アナクネ、ネ 国際言語年 オロ ウン ウサ オカイ ペ  
anakne, ne Kokusai-gengo-nen or un usa okay pe  
オロタ イカスヤシ カ キ、イカシパオツテアシ カ キ  
orta ikasuy=as ka ki, ikaspaotte=as ka ki  
クス ネ ナ。  
kusu ne na.

チュタリ アナクネ、言語 ネ マヌパ シノ アエヤム  
c=utari anakne, gengo ne manu p sino a=eyam  
クニ プ ネ ヒ ピリカノ チェラマン ワ オカアシ  
kuni p ne hi pirkano c=eraman wa oka=as  
ルウエ ネ。  
ruwe ne.

アウタリ シネン シネン、アコロ イタク シンナイノ  
a=utari sinen sinen, a=kor itak sinnayno  
アン クシケライポ、ピリカノ シンナ ウウエカラパ  
an kuskeraypo, pirkano sinna uwekarpa  
オカ、シンナ ウレシパ オカ ルウエ ネ。  
oka, sinna urespa oka ruwe ne.

アコロ イタク アニ エネ ウサトイネノ オカアン ヒ  
a=kor itak ani ene usatoyneno oka=an hi

その話がどのようなものなのか、少しでも  
お話したいと思います。

インターネットでその人が私に見せてく  
れたのは次のとおりです：

「私たちユネスコ(国際連合教育科学文化  
機関)は、この国際言語年の諸事において  
手助けしたり、指令を出したりするつもり  
ですよ。

私たちは、言葉というものが本当に大切  
なものであるということをよく理解し  
ています。

私たちは一人一人、持っている言葉が違  
っているおかげで、きちんと違った集団  
が生まれ、違った暮らしが生まれます。

私たちは言葉によってこのようにめいめ  
い違っているので、他人が違っていても  
それを認めつつ一緒にお互いの力で幸せ

クス、オヤ クル シンナイノ アン ヤッカ  
kusu, oya kur sinnayno an yakka  
アラムオシマ コロ トウラノ ウウエピリカアン  
a=ramuosma kor turano uwepirka=an  
エアシカイ ペ ネ ルウエ ネ。  
easkay pe ne ruwe ne.

になれるものなのです。

自然環境 アエブンキネ クニ、ウサ オカ モシリ タ  
Sizen-kankyoo a=epunkine kuni, usa oka mosir ta  
オカ ウタラ ネヤ 先住民 ウタラ ネヤ、ピリカレンカピ  
oka utar neya senzyuumin utar neya, pirkarenkapi  
アコチャヌプ ヤク ピリカ。クス、コロ イタク ネ ヤッカ  
a=kocanup yak pirka. kusu, kor itak ne yakka  
アエヤム クニ プ ネ ルウエ ネ。  
a=eyam kuni p ne ruwe ne.

自然環境を大事にするために、いろんな土地にいる人々や先住民たちの考えを参考にするとよいです。だから、彼らの言葉も大事にするべきなのです。

コロカ、アサンミッポウタリ ルプネクル ネ ワ オカ  
korka, a=sanmippoutari rupnekur ne wa oka  
ラポク タ、言語 7000 オロ タ エムコホ パクノ イサム  
rapok ta, gengo 7000 or ta emkoho pakno isam  
ナンコロ セコロ アイエ。  
nankor sekor a=ye.

しかし、私たちの子孫たちが大人になった頃、7000 の言語のうち半分ほどが無くなるだろうと言われています。

アピシキ エアイカフ パクノ ポロンノ アン 言語  
a=piski eaykap pakno poronno an gengo  
アニ インネ ウタラ ウサトイネノ ウコイソイタク パ  
ani inne utar usatoyneno ukoysoytak pa  
コロ オカ ヒケ、教育 ネヤ 通信 ネヤ 出版  
kor oka hike, kyouiku neya tuusin neya syuppan  
ネヤ、オロ タ アナクネ ソモ アイエ ノ アハイタ ワ  
neya, oro ta anakne somo a=ye no a=hayta wa  
アン 言語 カ ポロンノ アン ルウエ ネ。  
an gengo ka poronno an ruwe ne.

数え切れないほど多くの言語で多くの人々がそれぞれ会話しているのに、教育とか通信とか出版とかの中では言われずにないがしろにされている言語もたくさんあります。

トウナシノ ネウン ポカ イキアン クニ プ ネ  
tunasno neun poka iki=an kuni p ne

早く何とかしなければいけません、どうしたらいいでしょう？

コロカ、マカナク イキアン ヤク ピリカ？  
koraka, makanak iki=an yak pirka?

ウネノ アン 言語 アニ ウコイソイタク ウタラ  
uneno an gengo ani ukoysoytak utar  
アナクネ、コロ イタク ピリカノ アエパカシヌ パ ワ  
anakne, kor itak pirvano a=epakasnu pa wa  
エラムオカ クニ アエサンニヨ ヤク ピリカ。  
eramuoka kuni a=esanniyo yak pirka.

オラ、エイカウ 言語 アニ ウコイソイタク ウタラ  
ora, eykaun gengo ani ukoysoytak utar  
アナクネ、ネ モシリ オロ タ ネヤ 世界 オロ タ ネヤ、  
anakne, ne mosir or ta neya sekai or ta neya,  
オヤ ウタラ コロ 言語 シネブ ヘネ トウブ ヘネ  
oya utar kor gengo sinep hene tup hene  
エラムオカ クニ アエコオロスツケ ヤク ピリカ ワ。  
eramuoka kuni a=ekoorstutke yak pirka wa.

インネ ウタラ オヤ 言語 ネ ヤッカ ピリカノ  
inne utar oya gengo ne yakka pirvano  
エラムオカ ヤク エアシリ、コロ イタク 世界 オロ タ  
eramuoka yak easir, kor itak sekai or ta  
マカナク アン ペ ネ ヤ カ エラムオカ ナンコロ。  
makanak an pe ne ya ka eramuoka nankor.

チュタリ ユネスコ アナクネ、ウサ オカ ウタラ  
c=utari Yunesuko anakne, usa oka utar  
エウン、言語 オピッタ アエヤム クニ トウラノ  
eun, gengo opitta a=eyam kuni turano  
アリキキアン ロ セコロ チイエ クス ネ。  
arikiki=an ro sekor ci=ye kusu ne.

ネ ヒ タ、エチャンチャンケ ノイネ アン 言語  
ne hi ta, ecancanke noyne an gengo

同じ言葉で会話する人たちに関しては、その言葉をきちんと教えて(彼らが)理解するように算段するといいです。

また、優勢である言語で会話する人たちに関しては、その国や世界中で、別の人たちの持つ言語を一つでも二つでも理解するように勧めるといいますよ。

多くの人たちが別の言語でもきちんと理解するならば初めて、彼らの持つ言葉が世界の中でどのようにあるものかわかるでしょう。

私たちユネスコは、色々な人たちへ、人が言語全てを大切にするように、共に働きましようと言うつもりです。

その際、消え去りそうである言語は、一番きちんと大切にして広めるようにしな

アナク、イヨッタ ピリカノ アエヤム ワ アピラサ  
anak, iyotta pirvano a=eyam wa a=pirasa  
クニ イキアン クニ プ ネ ルウエ ネ。  
kuni iki=an kuni p ne ruwe ne.

ければなりません。

ネウン ネ ヤッカ、ネイ タ ネ ヤッカ、エネ 言語  
neun ne yakka, ney ta ne yakka, ene gengo  
アエヤム クニ プ ネ ヒ アイエパカシヌ ヤク ピリカ。”  
a=eyam kuni p ne hi a=i=epakasnu yak pirka.”  
セコロ  
sekor.

どのようにしても、どこであっても、言語が大事なものであるということが人に教えられるといいです。」と。

アイヌイタク ネ ヤッカ アエヤム クニ プ ネ  
ainuitak ne yakka a=eyam kuni p ne  
クス、アイヌタイムズ カ タ ウサ オカ ウタラ  
kusu, Ainutaimuzu ka ta usa oka utar  
アイヌイタク アニ ウサ オルシペ ヌイパ ヤク ピリカ  
ainuitak ani usa oruspe nuypa yak pirka  
クニ クラム。  
kuni ku=ramu.

アイヌ語だって大切にすべきものなので、アイヌタイムズ紙上でいろんな人達がアイヌ語でいろんな話を書けばいいと私は思います。

パクノ クイエ。  
pakno ku=ye.  
イヤイライケレ。  
iyayraykere.

おしまいです。

ありがとうございます。

アイヌ語新聞「アイヌタイムズ」の記事「ユネスコで「国際言語年」の話がありました」を加筆修正してます。

- ・第44号 2008年(平成20年)4月7日 アイヌ語ペンクラブ発行4~8頁引用
- ・第44号 日本語版7月22日 アイヌ語ペンクラブ発行2~3頁引用

アイヌタイムズ編集長のホームページ: <http://www.geocities.jp/oturunay/taimuzu.html> (投稿等のお問い合わせ)

アイヌ語ペンクラブ: 〒055-0101 北海道平取町二風谷80-25 萱野志朗 (購読等のお問い合わせ)

この談話の原版(英語):

[http://portal.unesco.org/culture/en/ev.php-URL\\_ID=35559%26URL\\_DO=DO\\_TOPIC%26URL\\_SECTION=201.html](http://portal.unesco.org/culture/en/ev.php-URL_ID=35559%26URL_DO=DO_TOPIC%26URL_SECTION=201.html)

この談話のエスペラント版(世界エスペラント協会): <http://uea.org/dokumentoj/komuniko/j/gk.php?no=274>

エスペラント版からの日本語訳(日本エスペラント学会): <http://www.jei.or.jp/unesko/lingvojaro.htm>